

1/29 日



初代チャンピオン決定!

豪雪をチャンスにしようと市内の青年グループ「チャレンジクラブ」が企画・主催した「第1回雪合戦チャンピオン決定戦」が、朽木グリーンパーク想い出の森を会場に開催されました。

当日は晴天に恵まれ、小学校一年生からおっちゃんまで、15チーム75人が参加して熱戦を繰り広げ



ました。冬季限定のどこでも出来るスポーツ「雪合戦」にみんなもチャレンジしてみませんか。

◆初代チャンピオンの皆さん!おめでとう!

[小学生低学年の部] はりきりやりくり団(高島市朽木)

[小学生高学年の部] 元気いっぱいトイレそうじ部

(高島市新旭町)

[高校・一般の部] 1位: ZRC60年会(大津市)

1/27 金 ~ 1/31 火

SEN-KOTSU

伝統の扇骨製造技術が世界の舞台へ

安曇川町商工会では、伝統工芸の扇骨の製造技術を活用した竹のインテリアや照明器具などを試作し、フランス・パリで1月27日~31日に開催された国際見本市メゾン&オブジェに出展し、好評を博しました。



1/28 土

雪の斜面を大チューブで滑降



国境スキー場で開催されたマキノウインターフェスティバル。同町観光協会や商工会、マキノ高原観光や国境スキー場など地元9団体でつくる四季遊園マキノ交流促進協議会が、毎年マキノスキー場と交互で主催する高島を代表する冬のビッグイベント。

この日は、タイヤで斜面を滑るチュービングレースや雪中宝探しゲーム、動物にふんずるスタッフと会場のちびっことの雪上綱引き大会などが行われました。また特産品等のサービスコーナーでは猪肉や地元食材をふんだんに使った特製里山汁やニセコ産ホットポテトなどに長い行列ができ、雪の上に座って味わっていたお客さんたちもいっぱい。フィナー



トは澄んだ冬空とグレンデに大変ロマンティックなひとときと感動を醸し出していました。

1/29 日

お正月遊びで国際交流!!



冬晴れの29日、市内の学校で英語を教えておられる外国人の先生を交えた交流会が新旭町のほおじろ荘とかばた館で行われ、子どもから大人まで総勢46人が参加しました。この交流会は、身近におられる外国人の方々とのおふれあいを通じて国際交流を深めようと、新旭町国際交流協会が企画したもので、坊主めぐりや福笑い、駒まわしなどお正月の遊びをみんなで楽しみ、しょいめしやぜんざいなどの日本料理のお食事をして楽しいひとときを過ごしました。外国人の先生方にとっては、日本文化の体験、また市民の方々にとっては日本文化の再認識と国際理解をしてもらう機会になり、このような身近な交流から、多くの市民の方々とのお交流の輪が広がっていくことを期待しています。



1/13 金

私たちの「願い」天まで昇れ



今津北小学校で、学校、PTA、ひびきあい委員、老人会と一緒に「左義長・もちつき大会」が開催されました。

左義長は、学校創立以来といわれる伝統行事。当日は雪のグラウンドに書初めをつけた竹が束ねられ、全校生が囲み、各学年の代表26人が新年の誓いの言葉を発表しました。児童会代表によって火がつけられると、あっという間に火が回り、燃え上がった書初めは「字が上手になりますように」という子どもたちの願いを乗せて、高く高く舞い上がりました。



左義長の後は、体育館でもちつき大会が行われました。5年生が老人会(今津北年輪会)のみなさんの指導のもとに田植えをして収穫したもち米を蒸して、杵をつき、ねばりのあるおもちができました。おもちを左義長にやってきた保育園児や全校生に振舞われ、子どもたちは頬を膨らませて美味しさを表していました。

1/28 土

思わず見とれる湖上の舞



琵琶湖沿岸8ヶ所の会場で、この日一斉に水鳥観察会が開催。市内では、小雪の舞う中、新旭水鳥観察センターとマキノサニービーチの2ヶ所で行われました。

観察会は、1971年2月2日のラムサール条約締結を記念して設けられた「世界湿地の日」にちなんで毎年行われているもので、ラムサール条約登録湿地である琵琶湖の美しさとその自然環境保全の重要性を県民の方に考えていただくため、(財)淡海環境保全財団および琵琶湖ラムサール条約連絡協議会の主催で行われています。



今年は、日本海側の寒波の影響で、琵琶湖に飛来する水鳥が例年より増えているといわれています。

琵琶湖で羽を休めるこの鳥たちが、やがて遠く離れたシベリアの地に帰っていくころには、巷に春のおとずれを感じることでしょう。

まち木夕写真館

あんなできごと、こんな人。まちで起こったホットなニュースを紹介します。ニュースは皆さんから大募集!! あなたのとびつきりを紹介して下さい。毎月5日〆切。秘書広報課までご連絡下さい。

「あどかちゃん人形」伝言板

6年前、安曇川町商工会が企画し商店街のイメージアップのため誕生したマスコットキャラクター「あどかちゃん」。「ほんのりふれあい香るまち」をテーマに、まちを代表する花「ふじ」と「藤娘」を子どもらしくデザインして誕生しました。今では、あどかちゃんエプロンや環境に優しいレジ袋、エコ買い物袋なども製作され、各商店のイメージキャラクター等として商品化され商店街の活性化につながっています。



今回、安曇川の商店街だけではなく、市全体の活性化を図る目的として「あどかちゃん人形」でんごん板を作成。市民が気楽に「でんごん板」として利用できるよう各商店の軒先や公共施設に設置いただきました。

今後は、市商店街の活性化を目指すためのイメージキャラクターとして発信していきたいと思ひます。

(安曇川町商工会商業部)

【設置場所】

- ・安曇川支所
- ・藤樹の里ふれあいセンター
- ・安曇川デイサービスセンター
- ・安曇川図書館
- ・安曇川世代交流センター
- ・中江藤樹記念館 ほか